

(7) 熊本地震により被災した平成29年度香川大学学部入学志願者の検定料の免除について

熊本地震により被災し、以下の対象者のいずれかに該当すると思われる志願者で、検定料の免除を希望される方は、事前に香川大学入試グループに連絡してください。検定料免除対象者に該当すると判断された場合は、個別に本学所定の様式を送付しますので、申請書類を出願書類とともに提出してください。

(対象者)

- ①主たる家計支持者が、平成28年度に災害救助法適用地域において被災し、自宅家屋が全壊、大規模半壊又は流出した方
- ②主たる家計支持者が地震により死亡又は行方不明の場合

### 3. 選 抜 方 法

#### 【教育学部】

課 程	選 抜 方 法
学校教育教員養成課程	小論文，面接，口頭試問及び実技検査の総合点により選抜します。面接では，調査書，推薦書，志望理由書，資格及び活動歴調査票を含め，総合的に評価します。
人間発達環境課程	小論文及び面接の総合点により選抜します。面接では，調査書，推薦書，志望理由書，資格及び活動歴調査票を含め，総合的に評価します。

(注) 本学が課している試験項目のいずれかを受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

#### 〔1〕配 点

区 分		小論文	面接・調査書等	口頭試問・実技検査	計	
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	(ア) 幼児教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 100	350
	小学校教育コース	(イ) 小学校教育に関心をもつ者	100	150		250
		(ウ) 特別支援教育に関心をもつ者	100	150		250
	中学校教育コース	(エ) 国語教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(オ) 数学教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(カ) 理科教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(キ) 技術教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(ク) 家庭科教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(ケ) 音楽教育に関心をもつ者	100	150	実技検査 200	450
		(コ) 美術教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
(サ) 保健体育教育に関心をもつ者	100	150	実技検査 200	450		
人間発達環境課程		100	150		250	

#### 〔2〕小論文

小論文は、大学生の資質として求められる論述の能力を評価します。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選ばれます。なお、評価に際しては、読解力や表現力などの基礎的能力に重点をおきながら総合的に評価します。

#### 〔3〕面接・調査書等

面接は、大学生としての資質、創造的な探求心や勉学意欲、人間性、そして、広く教育界での活躍をめざす者としての適性などの観点から行います。評価は、調査書、推薦書、志望理由書、資格及び活動歴調査票を含め総合的に行います。

#### 〔4〕口頭試問・実技検査

口頭試問	<p><b>区分(ア)「幼児教育に関心をもつ者」</b>に志願する者には、大学が準備した素材を用いて特定の年齢の乳幼児に対する表現力を問う課題（試験当日に指定します。）を含んだ口頭試問を個別に行い、保育実践及び乳幼児発達への関心・理解を問います。口頭試問の前には、一定の準備時間を設けます。なお、持参した資料・メモ等は使用できません。</p> <p><b>区分(イ)「国語教育に関心をもつ者」</b>、<b>区分(オ)「数学教育に関心をもつ者」</b>、<b>区分(カ)「理科教育に関心をもつ者」</b>、<b>区分(キ)「技術教育に関心をもつ者」</b>、<b>区分(ク)「家庭科教育に関心をもつ者」</b>及び<b>区分(コ)「美術教育に関心をもつ者」</b>に志願する者には、それぞれの教科の基礎的知識を問う口頭試問を個別に行います。</p> <p>なお、<b>区分(コ)「美術教育に関心をもつ者」</b>に志願する者は、高等学校又は高等専門学校在籍中に制作した作品又はその作品の写真を、3点以上、事前に送付するか、送付できない場合は試験当日に持参してください。口頭試問は主にその作品について試問します。</p>
実技検査	<p><b>区分(ケ)「音楽教育に関心をもつ者」</b>に志願する者は、下記の検査項目の(1)から a～c のいずれか1つと、(2)を合わせて計2項目を受験してください。</p> <p>(1) a. ピアノ 任意のソナタの中より第1楽章又は終楽章を演奏する（ただし、緩徐楽章を除く。）。</p> <p>b. 木管楽器 任意の1曲を無伴奏で演奏する。</p> <p>c. 声楽 アリア又は歌曲より任意の1曲を演奏する（歌曲のみ移調可）。</p> <p>備考 1. 演奏はすべて暗譜によるものとし、繰り返しは省略してください。</p> <p>2. 木管楽器は、各自持参してください。</p> <p>3. 声楽を受験する場合は、伴奏譜を入学願書に添えて提出してください。</p> <p>(2) 旋律聴音</p> <p><b>区分(サ)「保健体育教育に関心をもつ者」</b>に志願する者は、下記の検査項目を受験してください。</p> <p>一般運動能力テスト （ジグザグ走，20mシャトルラン，立ち5段跳び，長座メディシンボール投げ）</p> <p>備考 1. 十分に運動のできる服装を用意してください。</p> <p>2. 体育館シューズを持参してください。</p>

#### 【法 学 部】

小論文及び面接（調査書，志望理由書の評価も含みます。）の総合点により選抜します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

#### 〔1〕目 的

香川大学法学部は、法律・政治の分野で実社会に貢献できる人材を送り出すため、少人数教育を重視し、ゼミナール形式の授業を4年間一貫して実施しています。そこで、本学部を志望する学生には、活発なディスカッションを通して、現代社会に対する鋭い問題意識を自ら育成し、自己の潜在的な能力を伸ばしていくことが求められます。従来型のペーパーテストでは十分に評価できないそうした資質を持った学生を、グループ・ディスカッション方式を導入することにより的確に把握することが、この推薦入試を実施する目的です。

#### 〔2〕配 点

小 論 文	面 接	計
100	120	220

#### 〔3〕小論文

設問に対する1,000字程度の論述を行います。問題は、広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。評価の観点、受験者の論理的思考力、文章表現力、説得力などです。

#### 〔4〕面 接

面接は、グループ・ディスカッションを評価する方式で行います。グループ・ディスカッションは、ある問題の是非をめぐって議論を戦わせるディベート型ではなく、提示されたテーマについて問題そのものの理解と解決の方策を議論する問題解決型のもので、ディスカッションのテーマは、現代の社会に関するものです。

受験者は、テーマについて40分～60分程度のディスカッションを行います。その際、論理的思考力、説得力、他者の意見を理解し整理する能力、議論を積極的に発展させる能力などが多面的に評価されます。

受験者には、受験票とともに本年度のディスカッションのテーマが事前送付されます。

#### 【経済学部】

小論文、面接及び調査書（評定平均値は出願要件であり、特記事項のみを評価します。）の総合点により選抜します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

#### 〔1〕配 点

小 論 文	面 接	調 査 書	計
60	60	10	130

#### 〔2〕小論文

小論文の試験問題は、素材となる資料を提示し、その資料について受験者の論述を求めるという形式を取ります。評価の観点には、資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。素材は、経済、社会、文化に関する分野から選ばれます。

#### 〔3〕面 接

個人面接とし、所要時間は10分程度とします。志望理由書・推薦書に基づいて質問し、的確な応答をしているか、発言が説得的で分かり易いか、社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。

#### 〔4〕調査書の特記事項

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるものをいいます。文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。なお、文化活動及びスポーツ活動については、主催団体名と個人種目か団体種目かの別を明記してください。また、検定試験については、主催団体名を明記してください。評価にあたっては、最もよい一項目のみを対象とし、複数の項目を加算する方式は採りません。

なお、上記の特記事項の内容を一覧にした「資格及び活動歴調査票」の提出も併せて求めます。

## 【工 学 部】

小論文及び面接（調査書、推薦書及び志望理由書の評価を含みます。）の総合点により選抜します。  
ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

### 〔1〕配 点

区 分	小 論 文	面 接	計
安全システム建設工学科 電子・情報工学科 知能機械システム工学科 材料創造工学科	150	150	300

### 〔2〕小論文

小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力、論理的思考力及び表現力等を評価することを目的とします。

素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

### 〔3〕面 接

面接は、調査書、推薦書、志望理由書を資料とし、創造的な探求心、論理性、社会性、積極性等を評価することを目的とします。

調査書については、勉学状況、特記事項を評価します。調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるものことです。生徒会活動、クラブ活動、ボランティア活動、文化活動、スポーツ活動などにおいて実績を挙げているもの、また、優れた特技及び英語検定、TOEIC、TOEFL、情報処理技術者試験、電気工事士などの資格を取得しているものを評価します。

## 【農 学 部】

小論文及び面接（調査書及び志望理由書の評価を含みます。）の総合点により選抜します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

### 〔1〕配 点

小 論 文	面 接	計
100	100	200

### 〔2〕小論文

小論文では、生物資源、生物生産、生命、環境、食料などに関する課題を与え、生物学と化学の素養（基礎知識と論理性）並びに文章表現力を審査します。

### 〔3〕面 接

面接は、集団で行い、志望理由書並びに調査書を参考にしながら、志望する動機と修学に必要な科学的基礎学力、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学に対する意欲などを評価します。